



北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。第1期生の海外での挑戦の様子などについて、お届けします！現在、7名が留学中！

## 学生留学コース

### 坂上 涼一 さん（北海道情報大学） ～ICT先進国で学び 観光アプリを開発～

多様化した観光ニーズに対応する、高度なIT技術を学ぶためフィンランドへ8月から5か月間の留学中。

生徒の自主性を尊重する授業スタイルの大学で、多国籍の少人数チームを率いて、課題を解決するアプリやゲームの制作に取り組んでいる。

トーナメント方式で、各フェーズに設けられたプレゼンの関門を好成績で突破し、実践的に学びを進めている。



### 福沢 大貴 さん（北星学園大学） ～アイヌ文様を発信しアイヌファッションの逆輸入を～

ファッションを通して、アイヌ文様を世界に発信し、逆輸入することを目指して、英国へ9月から5か月間の留学中。

お世話になる方々に自らの計画や今後やりたいことを伝え、同じ意思を持つ仲間を作る、成功するかは自分次第とのアドバイスを得て、ファッションデザイン学部の授業に参加。

また、ロンドンで開催される展示会にも足を運び、歴史や制作を学習中。



### 高橋 宗一郎 さん（酪農学園大学） ～ワイン酵母を研究し 道産ワイン産業に貢献～

ワインの天然酵母の研究のため、イタリアへ9月から4か月間の留学中。

イタリアでワイン酵母研究トップクラスの実績を持つ教授のもと、多様な国々の留学生とともに、酵母の株の研究や、よくない香りを生む菌への抗菌物質の試験等に取り組んでいる。

最先端の研究や、現地の文化、人に触れ、研究者として知的好奇心をかき立てられる日々を過ごしている。

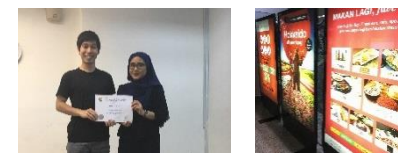


### 中川 竣貴 さん（北海学園大学） ～ハラルの現地調査で 道内企業と海外の架け橋に～

ハラルについて学ぶためマレーシア等3カ国へ8月から6か月間の留学中。

現地語学学校での授業では、他国の学生とのディスカッションを通して、異文化交流を学ぶとともに、現地の本や新聞、オンラインでハラルの専門的ボキャブラリーを蓄積中。

現地のスーパーでハラル認証表示について調査を進め、12月からの本格調査に向けた準備を進めている。



### 畠山 陸 さん（小樽商科大学） ～東南アジアでゲストハウスを立ち上げ 北海道との交流拠点に～

ゲストハウスの海外進出に向け、ベトナムで4か月間の企業インターン中。

発展著しいベトナム中部のダナンを拠点に、ゲストハウス及び法人設立に向け、市場や物件の調査、収支計画づくりを行うなど順調に前進している。

海外でのビジネスの難しさや重圧を感じながらも、実践とインプットの両輪で、将来の起業に向けてチャレンジを続けている。



## スポーツコース

### 齊藤 雄大 さん ～先進地に学び、道内に障がい者スポーツの拠点を～

障がい者スポーツ先進国の米国で8月から1年間の研修中。

全米トップの車椅子ソフトボールチームに所属し、先進の技術や指導・運営などを学んでおり、9月に東京で行われた車椅子ソフトボール国際親善試合には、アメリカ代表チームのスタッフとして帯同。

北海道に障がい者スポーツの拠点を作るという夢に向けて、着実に経験を積んでいる。



## 未来の匠コース

### 古里 裕之 さん ～本場フランスで研鑽を積み、道産ジビエ料理に革新を～

本場フランスのレストランで7月から6か月間の研修中。

現地の食材、調理方法、知識、技術。様々なことを、日本食材への使い方や常意識しながら、食欲に吸収。

また、現地のスタッフに請われ寿司パーティーを開催するなど、ギブ&テイクでフランス生活に入り込んでいる。

10月後半からはパリの2つ星レストランに移って研修。

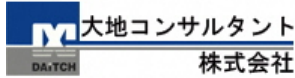


# ほっかいどう未来チャレンジ基金

## 応援パートナーの皆様

(平成29年10月現在)

### ◎企業の皆様 (50音順)



TAIYO GROUP



MEDICAL SYSTEMS NETWORK 株式会社  
メディカルシステムネットワーク

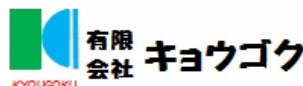
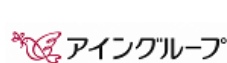


IKEUCHI GROUP



・その他匿名希望の企業様 1

### ○平成29年9月～



### ◎個人の皆様 (50音順)

・武田孝 様 (拓殖工業(株)代表取締役会長) ・船津秀樹 様 ・遠藤光二 様

古本募金による寄附を受け付けています。



応援パートナー「NORTH CREATE」様のご協力により、ご家庭や会社で不要になった本等を寄附することで、その査定額全額が基金に寄附され、若者の支援に繋がる「古本募金ハピぼん」の取組を行っています。

個人での参加はもちろん、企業単位での参加も可能ですので、ハピぼんホームページをご覧ください。基金事務局までご一報ください。

